

## 甘 楽中女子駅伝部 関東・全国大会で健闘！

第27回関東中学校駅伝競走大会(埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)が12月2日に開かれ、県大会で初優勝した甘楽中女子駅伝部が出場しました。関東各都県から勝ち上がった33の強豪校の中で、10位(5区間12.26km・42分1秒)と健闘しました。

また、12月16日には第26回全国中学校駅伝大会(滋賀県希望が丘文化公園)に出場しました。選手たちは全国の代表校に負けない力強い走りで大舞台をつなぎ、初出場で堂々の19位(5区間12km・43分7秒)でゴール。大舞台で練習の成果を発揮し、20位以内という目標を見事達成しました。駆け付けた応援団の熱い声援を追い風にして、心を一つに走る選手たちの姿は勇気と感動を与えてくれました。



関東・全国大会で粘り強い走りを見せた甘楽中女子駅伝部選手  
(左から走順 高橋さん、田中さん、大類さん、倉林さん、浅香さん)

### 目標達成！！ 女子駅伝部選手のコメント

- 1区 高橋雛乃さん(2年)…けがから復帰して自分の走りができた。来年も全国に出場し、今年よりも順位を上げたい。
- 2区 田中優里奈さん(2年)…初めての全国大会で自分のレースができ、チームの目標も達成できた。
- 3区 大類瑞季さん(2年)…緊張せずに自分のベストを尽くせて良かった。
- 4区 倉林樹恵さん(3年)…最後のレースで自分の走りができた。応援してくれた全ての人に感謝している。
- 5区 浅香莉里さん(3年)…最後の大会で大舞台で自分の力を出し切ることができた。先生や応援してくれた人に感謝したい。
- 補員 今井彩香さん(2年)…補員だったけれど、自分の納得いく走りができた。
- 補員 浅香寧々さん(1年)…全国で走ることができてとても良い経験になった。
- 補員 高麗姫禾さん(1年)…今までの中で一番いい走りができた。

## 栄えある受章おめでとうございます

町とイタリア・チェルタルド市の姉妹都市交流功労者、エットレ・コローさん(ローマ市在住)が平成30年秋の外国人叙勲の瑞宝双光章を受章しました。

コローさんは在バチカン日本国大使館現地職員として長年勤務され、日本国在外公館活動に寄与されました。コローさんは「今回の受章に恵まれ、驚きと喜びが心にあふれています。甘楽町の皆さんと一緒に喜びを分かち合いたいです」と話されました。

1983年に町がチェルタルド市との姉妹都市関係樹立に向けて協議を進めるにあたり尽力されたコローさんは、以後36年にわたり町の使節団や中学生研修団の訪伊に協力、姉妹都市交流の発展に貢献されています。



中村芳夫・在バチカン日本国特命全権大使から瑞宝双光章を伝達されたコローさん(右)

# 明るく元気な学校生活に いじめ防止フォーラム

第6回甘楽町子どもいじめ防止フォーラムが12月4日、甘楽中学校体育館で開かれました。このフォーラムは、「いじめ防止」に向けた各小中学校の取り組みや活動の発表、意見交流を通して、学校・家庭・地域・関係機関との連携を強化することを目的としています。各学校の代表が独自に取り組んでいる活動の報告や成果を発表し、お互いの活動内容について質問をし合い、活発な意見交流ができました。最後に会場全員で「いじめゼロ宣言」を声高らかに宣言し、いじめ防止の意識をさらに高めました。

また、町いじめ防止啓発標語コンクールの表彰も行われました。優秀作品は右のとおりです。



会場全員で「いじめゼロ宣言」を唱和

## 平成30年度甘楽町いじめ防止啓発標語コンクール優秀作品(敬称略)

- 『ぼくはしない じぶんがされて いやなこと』 堀込岳琉(小幡小1年)
- 『思いやり みんながもって 広がる笑顔』 外所加帆(福島小4年)
- 『つくろうよ 毎日笑える 日常を』 戸丸彩花(新屋小5年)
- 『「大丈夫？」 言葉で灯せる 心の光』 大河原一貴(甘楽中3年)

# 家庭の日標語 小・中学生県最優秀賞！

平成30年度群馬県青少年育成大会が11月23日、群馬県公社総合ビル(前橋市)で開かれ、「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクールの表彰が行われました。標語の部に県内の小学校・中学校・高校・一般から11,222点の応募があり、34点が入賞、95点が入選しました。

町からは金井俐樹くん(福島小6年)と森田真悠子さん(甘楽中2年)がそれぞれ小学校・中学校の最優秀賞を受賞しました。(右写真)

また、黒澤 碧さん(新屋小5年)と浦辺惟愛さん(新屋小6年)は銅賞を受賞しました。入賞・入選作品を紹介します。



金井くん



森田さん

## 「少年の日」「家庭の日」標語入賞・入選作品(敬称略・(少)は「少年の日」、(家)は「家庭の日」)

- |            |                                |              |
|------------|--------------------------------|--------------|
| <b>小学校</b> | 最優秀賞(家) 『家族の輪 話して広がる いい笑顔』     | 金井俐樹(福島小6年)  |
|            | 銅 賞(家) 『あぶないよ 命にかかわる 歩きスマホ』    | 黒澤 碧(新屋小5年)  |
|            | 銅 賞(家) 『スマホより 家族の顔みて 夕ごはん』     | 浦辺惟愛(新屋小6年)  |
|            | 入 選(少) 『そのことば 送信前に ひとこきゅう』     | 大類龍聖(新屋小4年)  |
|            | 入 選(家) 『家族はね 心の充電 するところ』       | 赤石春人(新屋小4年)  |
| <b>中学校</b> | 最優秀賞(家) 『ねえ聞いて 会話で深まる 家族のきずな』  | 森田真悠子(甘楽中2年) |
|            | 入 選(家) 『寒くても 話して笑って あたたまる』     | 齋藤茉凜(甘楽中1年)  |
|            | 入 選(家) 『「あのね」から 家族の会話 広がるよ』    | 山田千聖(甘楽中3年)  |
|            | 入 選(家) 『「ただいま」と 玄関あけたら 向かえる笑顔』 | 市川日葉里(甘楽中3年) |



# 読み聞かせで顕彰 せせらぎおはなし隊



清水代表

第16回群馬県図書館大会が11月29日、群馬県立図書館で開かれ、せせらぎおはなし隊(清水清香代表・33人)が群馬県読み聞かせボランティア顕彰を受けました。

小幡小学校で活動する読み聞かせボランティアグループせせらぎおはなし隊は、平成13年度にPTA教養委員会有志により発足しました。現役の保護者と卒業者の保護者の有志が読み聞かせ活動(同小各学年クラス・月1回・1回平均15分)や研修会を行っています。良質な読み聞かせの実践を長年にわたり

継続してきた熱心な活動により、地域の子ども読書活動推進への貢献が認められました。



読み聞かせ活動の様子

# 人権ポスターコンテストで入賞



人権について理解を深めるための第15回「人権ポスターコンテスト」(富岡人権擁護委員協議会・前橋地方法務局富岡支局主催)が開かれ、甘楽郡・富岡市・上野村の小学5年生を対象に523点の応募がありました。

12月1日に富岡市生涯学習センターで入賞者の表彰式が行われ、作品も展示されました。

町の入賞者は次のとおりです。

- ◇甘楽町長賞 西有優惺くん(小幡小・写真右)
- ◇甘楽町教育長賞 高田天我くん(新屋小・写真左)

# 餅つきで元気に交流 なごみサロン

15区おたっしゃ会「なごみサロン」(山田美智子代表)では、12月11日に同区公会堂で福島幼稚園年長組園児との交流会を行いました。これは同会が地域の子どもたちとの交流を深めることを目的に開いたものです。同会参加者23人と園児13人は「よいしょ!」と元気の掛け声で餅つきの見学・体験をした後に、つくたての餅にあんを詰めて丸めたり、きな粉や大根おろしをつけた餅と一緒に味わいました。

会員の金田浩子さん(福島)は「子どもたちは餅を上手に伸ばして丸めていました。餅米から餅になる様子を見たり、餅を丸めたり、子どもたちにとっても良い経験になったと思います」と話されました。また、参加者は園児たちの歌や手遊びで交流し、同区有志の皆さんによるフラダンスなどを鑑賞して楽しいひとときを過ごしました。



餅を丸める園児となごみサロン会員の皆さん

# おいしいミカンをありがとう！

かんら保育園に11月20日、吉田藤太郎さん(白倉)から約800個のミカンが届けられました。

吉田さんは、8年前にミカンの木を植え50本以上管理しており、収穫したミカンと同園の子どもたちに分けてくださいました。「こうやって木になっているんだよ」とミカンの枝や葉も教えてもらった園児たちは「やったあ！大きなミカンだ」と大喜び。「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言いました。

吉田さんは「今年はミカンが豊作で、子どもたちに届けることができ良かった。喜んでもらえてうれしかった」と話されました。



吉田さん(後列中央)とかんら保育園キリン(年長)組園児

## 園芸作物の栽培技術をブータンへ

研修員(左2人)  
峯岸さんから乾燥芋の指導を受ける



※ 研修指導先の農家の皆さん(( )は地区名・指導作物)

高野一馬さん(小幡・ナス)、堀口芳次さん(天引・ナス)、浅香一男さん(秋畑・乾燥イモ)、高橋 茂さん(小幡・ブドウ)、田村英志さん(小幡・キウイフルーツとリンゴ)、吉田恭一さん(上野・有機栽培)、峯岸やす子さん(天引・乾燥イモ)

JICA「ブータン中西部地域園芸農業振興プロジェクト」研修(プログラム運営：自然塾寺子屋(矢島亮一理事長))で、ブータンのバジヨ農業研究開発センターの研究者2人が11月下旬から約3週間甘楽町に滞在しました。この研修は、園芸作物の試験研究・栽培・普及に従事している研究者が実技研修を実施し、付加価値の高い園芸作物生産の振興を目指すもので、町の農家の皆さん<sup>(※)</sup>から栽培技術や管理の方法などの指導を受けました。

研究者のソナム・チョフェルさんは「甘楽町の農家の皆さんは市場が求める商品を作る『売るために作る』という市場志向で農業をしている。技術や経験を惜しみなく教えてくれ、本当に親切にしてくれた」と話してくれました。

## ニュージーランドとつながる交流の輪

ニュージーランドのオタキ市にあるオタキカレッジから高校生と引率教員など10人が甘楽町を訪問し、12月14日から17日まで日本文化に触れました。この交流は町田邦江さん(造石)がオタキカレッジで日本語を教えたことがきっかけで始まり、今回6回目の来町になりました。高校生たちは、甘楽ふるさと館に宿泊しながら、町内施設などを見学しました。甘楽中学校ではニュージーランド出身のALTキャサリン・ハウチンさんの受け持つ英語の授業を見学し、名前を漢字に当てて習字を体験するなど生徒たちと交流を図りました。



甘楽中学生と交流するオタキカレッジの高校生(右)



## 郡バレーボール大会 新屋クラブ優勝！

第46回甘楽郡バレーボール大会が11月18日、町体育館で開かれました。

郡内4チームによるトーナメント戦が行われ、新屋クラブ(吉田恵美子代表・右写真)が日ごろの練習の成果を発揮し、見事優勝しました。

吉田代表は「若い人が活躍してくれたおかげで、今回の優勝につながりました。今後も練習を頑張っていきたいです」と話されました。準優勝は福島クラブでした。



## 吹矢で健康増進！小幡体協



町体育協会小幡支部(齋藤文康支部長)は12月2日、町公民館でスポーツ吹矢体験教室を開きました。小幡地区の住民約30人が離れた的をめがけて矢を吹き点を競う「スポーツ吹矢」の基本動作を体験しました。

県スポーツ吹矢協会甘楽中央支部の本間良衛支部長(善慶寺)は「スポーツ吹矢は集中力がつき、腹式呼吸で健康にも良い。甘楽町で広めていきたい」と話され、参加者の新井萌安奈さん(小幡)は「初めて挑戦したが、最高得点の7点に当たったときは気持ちが良かった」と話してくれました。

また、指導員の齋藤勝義さん(国峰)は吹矢で肺活量がアップしていることを教えてくれました。

## 日ごろの文化活動を発表 郡老連作品展

甘楽郡老人クラブ連合会(黛 哲夫会長)の作品展が10月28日から30日まで町文化会館で開かれました。下仁田町・南牧村・甘楽町の会員92人による絵画や写真、書、俳句、盆栽、手工芸品など趣味の作品120点が展示されました。来館者は、さまざまな才能を持った会員の作品にじっくりと見入っていました。

出展者の一人、谷川マサ江さん(造石)は「皆様のご協力により、多くの作品を展示することができました。元気な高齢者の生きがい活動をたくさんの人に見ていただけたと思います」と話されました。



『いきいきクラブ活動紹介』では町内で活動する文化および  
体育協会登録団体のクラブ活動を紹介します。

## 甘楽きりえの会



- ◆代表者 丸澤桂子(善慶寺)
- ◆会員数 6人
- ◆設立年 昭和56年



### 活動内容

毎月第2火曜日の午後1時30分から3時30分まで町公民館で例会を行っています。スケッチから始めて、和紙を切り、色を入れ、貼って、世界に一つのきりえを創作しています。また、お互いに相談し合ったり、野外活動もしています。

### 今後の予定・目標など

毎年産業文化祭に出品しています。3月8日～10日に町文化会館で開かれる富岡甘楽造形美術作品展に出品予定です。日本きりえ美術展には希望者が出品しています。

また、3月13日～17日に町文化会館で開かれる丸澤代表の個展に賛助出品します。

### クラブの特徴

女性の会員が多い中、数年前に男性が入会してくれました。職業を持ちながら、都合をつけて参加し、一緒に楽しんでいます。会員減少の中、絵画部門のきりえを何とか残したいと思い頑張っています。

### 住民の皆さんに一言

いつでも誰でも入会できます。きりえの創作活動を通して人との出会いやつながりもでき、生活が潤い心豊かに過ごせます。絵の好きな人や興味のある人、ぜひ一度見学にお越しください。詳しくは丸澤代表(☎74-2835)へご連絡ください。お待ちしております。



きりえ創作の様子



町産業文化祭文化部門での展示